

孝行こうこうに証あかす ― 孝順心こうじゆんしん 大孝だいこうを悟さとり実践じっせんする ― (三版)

親おや孝行こうこうしたくなくとも
親おやが居いるなど痴しれ言ことだ
親おや孝行こうこうしたい時ときには
親おやは無なしとは理屈りくつなり

るでんさんがいちゆう
流転りうてん三界さんがい中

居いるとき歡心かんしん買かう者ものと
不在ふざいに大事だいじを勤つとむ人ひと
どちらが道理どうりに適かなうのか
孝行こうこう励げみて慚愧ざんきを学まなぶ

おんないふのうだん
恩愛不能断おんあいふのうだん
棄恩きおん入無為にゆうむい
真実報恩者しんじつほうおんしや

さらだいしに大しょう小まな学まなぶべし
借かり物返ものかえすは当然とうぜんなりと
まずしょうは小しょう孝身こうみにつけん
受うけた縁えにしに返かえせぬ恩おんを
観かんじて報むくいる孝行こうこうあらん
行おこなうまことに大孝だいこう証あかす

ふぼ しそう さんぼう
父母・師僧・三宝
こうじゆん しいどう ほう
孝順は至道の法

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文